

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年 7月27日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	原子炉補機冷却系第2中間ループ熱交換器(C)において、渦流探傷検査により伝熱管3080本のうち2本の伝熱管の減肉率が50%を超えていることが認められたため、当該伝熱管を閉止。 なお、当該熱交換器の伝熱管の閉止許容数は154本であり、今回の2本を閉止しても合計11本の伝熱管閉止となることから、当該熱交換器の熱交換性能に影響はない。	GⅢ	7月21日
2	4号機	換気空調系タービン建屋排気ファン(C)出口流量発信器において、当該排気ファンの運転を停止しても出口流量の指示値が残ること(計器精度誤差(±0.75%)外れ)が認められたため、当該出口流量発信器を点検・修理。 なお、当該排気ファン(C)は待機とし、建屋の排気は排気ファン(B)の運転により負圧が保たれていることから、建屋の換気に影響はない。	GⅢ	7月24日